



様式第6号 (第6条関係)

31年 4 月24日

(宛先) 安曇野市議会議長 小松洋一郎

会派名 公明党
代表者氏名 小松芳樹
経理責任者氏名 中村今朝子

30 年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、30 年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	決算額	備考
政務活動費	360,000	120,000円×3人
合計	360,000	

支出の部

項目	決算額	備考
研修(小松芳樹議員参加)	23,620	「公共ICTフォーラム 2018」研修会参加 参加費 0円 交通費 10,620円 宿泊費 15,000円の うち13,000円を充当
研修(中村今朝子議員参加)	31,280	「全国地方議会サミット 2018」研修会参加 参加費 10,540円 交通費 9,740円 宿泊費 11,000円
合計	54,900	

2 収入支出差引残高

305,100 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	公共ICTフォーラム2018 「地域共生社会実現に向けた地域包括ケアシステムの方向性」	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員の資質向上と市政発展のためにできることを学ぶため	
活動の概要	日時	30年 6月 8日(金) から 30年 6月 9日(土) まで 10時00分から 17時 20分まで
	研修先・主催者等	公共ICTフォーラム2018 TOKYO
	報告内容・実施したこと。	1日目 公共ICTフォーラムセミナー参加 同 展示会場見学 2日目 NEW EDUCATION EXPO2018 視察研修 別紙添付報告書をご覧ください。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムができてから、検証が重要と感じた。本市においても第7期介護計画について過去の事例を検証されているか確認するべきと思う。 ・介護現場への外国人労働者の受け入れは、まず言葉の壁をどうすべきかである。自治体の支援と国の支援が必要と思う。 ・介護現場へ新たなICTの導入することについては今後重要だと学んだ。 ・遠隔システムについては、高齢化が進むほど必要になる。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	「全国地方議会サミット2018 議会の力で日本創生」 研究会参加	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員の資質向上とこれからの市政発展のためにできることを学ぶため	
活動の概要	日時	30年 7月11日(水)から30年 7月12日(木)まで 13時 00分から 16時00分まで
	研修先・主催者等	早稲田大学大熊記念講堂大講堂 主催：ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 マニフェスト大賞実行委員会
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・議会と首長、住民との関係。住民と歩む議会の新たな議会運営について、講演を伺いました。 ・議会からの政策提言のあり方について。 ・議会と住民の意見交換会の中から政策提言をしていくことが大切。 ・PDDCAサイクルが大切。 ・熊本市長の震災復興に向けてのお話しを伺いました。 ・災害時の議会BCPが大切。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の福祉向上につなげるための政策提言をしていくことが大切であると思います。 ・住民の声を聞くことが大切であると思います。また、議会との意見交換会の開催の必要性を考えていきたい。 ・住民の声を聴く中から政策提言をしていくことが大切であると思います。 ・議会人として、住民目線でいくことが大切であると思います。 ・災害時の議会として議員としての活動のしかた、BCPの作成の取り組みをしていきたいと思います。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。